

情報処理科 3年A組

教科	商業	科目(単位)	課題研究 Javaアプリ開発講座 (3単位)
使用教科書	-		
授業形態	通常授業 ・ 分割授業 ・ T T		

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。
 ※T T (チームティーティング) とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

1 科目の目標

商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

2 科目の内容と授業の進め方

前期 (4月から9月まで)

- ・全商ビジネス文書実務検定試験講座を選択した人は、検定試験に向けて社内・社外文書の作成が効率よくできるような知識と技術を学びます。
- ・ワープロソフトを活用したグラフや図、画像などを文書に取り込む技法を学びます。
- ・情報処理技術者試験講座を選択した人は、試験に向けて問題集や外部の模試などを活用して試験対策を進めていきます。

後期 (10月から2月まで)

- ・開発統合ソフト「Eclipse」を活用して、ゲームアプリを開発するプログラミング手法を学びます。
- ・Javaの基本的なプログラミング知識があることを前提とした授業展開で作品作りを行います。
- ・講座内で作品の発表会を実施し、優秀作品は1月の情報処理科実習発表会において発表を行います。

3 学習の方法

- ・コンピュータでの実習が中心です。日頃から学校や家庭などで慣れ親しんでください。
- ・専門用語については、自ら調べて、理解を深めましょう。
- ・課題には積極的に取り組んで、本校での学習の集大成としてください。

4 課題・補習について

- ・宿題や課題の点検を行います。
- ・補習は必要に応じて実施します。

5 この授業で取得可能な資格 (検定試験)

- ・全商ビジネス文書実務検定 1級
- ・経産省情報処理技術者試験 (ITパスポート)

情報処理科 3年A組

教 科	商 業	科目(単位)	課題研究 Javaアプリ開発講座 (3単位)
-----	-----	--------	------------------------

6 年間の学習計画

月	全商ビジネス文書検定			経産省情報処理技術者試験		
	単元名	学習の内容	評価方法	単元名	学習の内容	評価方法
4	全商ビジネス文書検定 1 速度	<ul style="list-style-type: none"> 基本操作の確認 タッチメソッドの反復練習 図や画像を文書に取り込む練習 作業効率を上げるための繰り返し練習 用語及び漢字の読み書きを練習 検定試験に向けて学習する。 全商ビジネス文書実務検定	行動観察 提出物 模擬テスト	IT戦略	<ul style="list-style-type: none"> IT戦略系の問題演習 マネジメント系の問題演習 受験に向けて問題集や外部模試を活用して学習する。 経産省ITパスポート	行動観察 提出物 模擬テスト
5	2 文書作成 ・社内、社外文書の作成					
6	・図の挿入					
7	・作表					
8	3 筆記問題					
9	4 検定学習					
月	単元名	学習の内容		評価方法		
10	第1章 Swingの基礎	<ul style="list-style-type: none"> Swingの基礎的な知識について理解する。 画像の活用方法を理解する。 キーボードの入力イベントの利用方法を理解する。 マウスの入力イベントの利用方法を理解する。 スレッドの利用方法を理解し、状況に応じて適切にスレッドを活用できるよう理解を深める。 音声データの活用方法を理解し、キーボードやマウスのイベントを連動させる方法を理解する。 これまで学んだ機能を活かしてアプリケーションの開発を行う。 自分で課題を設定し、それを解決するシステムを作成する。 講座内で発表会をおこない、情報処理科実習発表会で発表する。 		行動観察 提出物 発表内容 発表作品		
	第2章 画像の活用					
11	第3章 キーイベントとマウスイベント					
	第4章 スレッドの活用					
12	第5章 音声データの活用					
1	第6章 アプリケーションの開発					
	作品制作					
	情報処理科実習発表会					
2	課題研究発表会					